

地域計画（モデル地区）の取組状況（令和6年12月末時点）

地域の営農維持のための集落営農組織設立に向けた話し合い				栃木県大田原市 北滝・片田地区	
農業を担う者数 (担い手数)	23	農地面積 (うち農振農用地)	169ha (160ha)	主な農畜産物	水稻(主食用米、 種子、飼料用米)
農業地域類型	中間農業地域	遊休農地	0ha	現状の集積率 (目標)	33% (80%)
地域の現状と課題			将来の地域農業の方向性		
- 排水不良圃場が多く、水稻以外の作付けが困難 - 農業者の高齢化が進行し、将来の担い手が不足 - 圃場に高低差があり、畦畔管理の労力が大きい。多面的機能組織が畦畔草刈り等を実施しているが、労働力が不足 - 米価下落や農業機械、資材、燃料等の価格高騰により、農業者の耕作意欲が減退			【農地の集約化に関する方向性】 - 隣接する両地区で、既存の集落営農組織を再編し集積・集約化を図っていく。 - 地域で農地利用調整を担う団体を設立し、規約に基づき新担い手組織が地域の営農を担う。 - 集落営農組織の再編と併せて、個別経営体と連携した地域の農地維持を目指す。		
協議を進める過程で発生した課題			取組経緯(課題への対応)及び今後の予定		
- 既存の担い手組織が3組織あり、組織再編等将来の担い手組織の方向性の明確化が必要 - 担い手組織と個別経営体の耕作エリア取りの調整 - 地域の多様な担い手の参画と役割分担 			【令和4年】 5月～ 「北滝・片田集落の未来の農業を考える会」を設立し、集落営農組織化に向けた勉強会を定期開催 【令和5年】 2～4月 農地利用意向調査実施(市内耕作者対象、対面調査) 5月 市産業振興部農政課中心に地域計画策定推進チームを設立 7～10月 地域座談会・担い手地域座談会開催。農地利用の方向性、将来の担い手組織の在り方について意見交換。地権者へのアンケート実施 10月 第1回地域計画策定に向けた地域会合(地域方針・目標地図素案・農業を担う者検討) 11月 農用地利用改善団体への参加意向調査結果:地権者参加同意率86% 12月～ 農用地利用改善団体設立に向けた準備(考える会・関係機関) 【令和6年】 3月 農用地利用改善団体(北滝片田農用地利用組合)の設立 7月 担い手組織の方向性の明確化及び個別経営体を含めた農地利用調整の協議 8月上旬 担い手組織の方向性を検討するための先進地視察(予定) 【令和7年】 1月 地域計画案取りまとめ、関係機関意見聴取		
北滝・片田地区の現況地図					

12



北滝・片田地区の現況地図